

# 発達障がい者の就労支援

～ **JST** (Job Related Skills Training)  
「ジョブ・スキル・トレーニング  
の実践を通じて」～

大阪府障害者福祉事業団

南河内南障害者就業・生活支援センター

センター長

坪倉 浩治

就業支援担当

佐々木 尊礼

# 障害者就業・生活支援センター

- 「障害者の雇用の促進等に関する法律」  
(障害者雇用促進法 S35 施行)

## 第二章 職業リハビリテーションの推進

### 第4節 「障害者就業・生活支援センター」を規定

- ・「リハビリテーション施設」 イメージ →
- ・「職業リハビリテーション」 イメージ →

これを聞いて、どう思われますか？

○ 利用者から……

「自分にあった仕事に(早く)就職したい」

○ 家族や関係機関から……

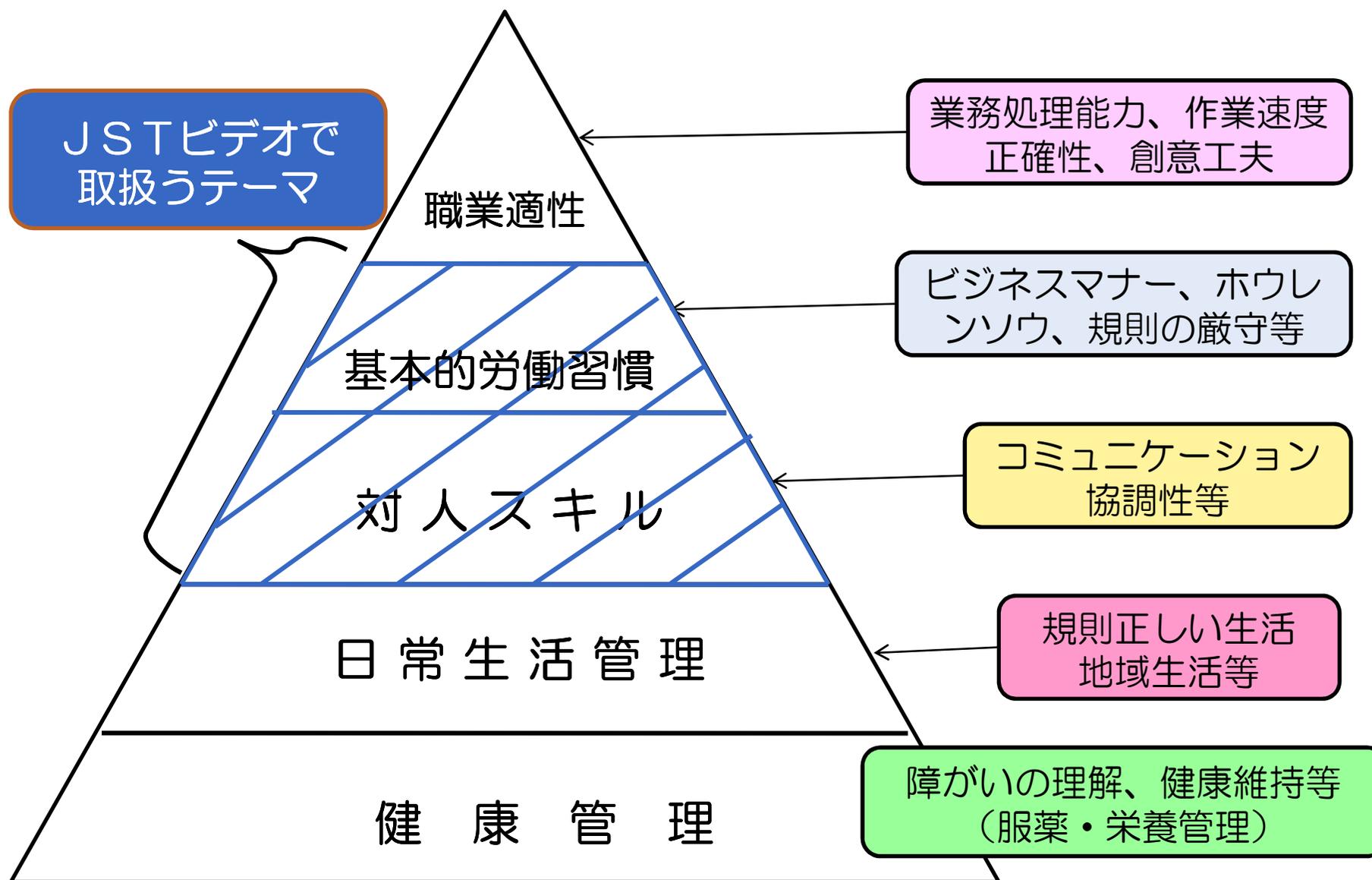
「就ポツさんは“就職”の支援をする  
機関(事業)ですよね？」



「**就職**」は目標・目的ではなく  
「**大切な1ページ**」として位置付け

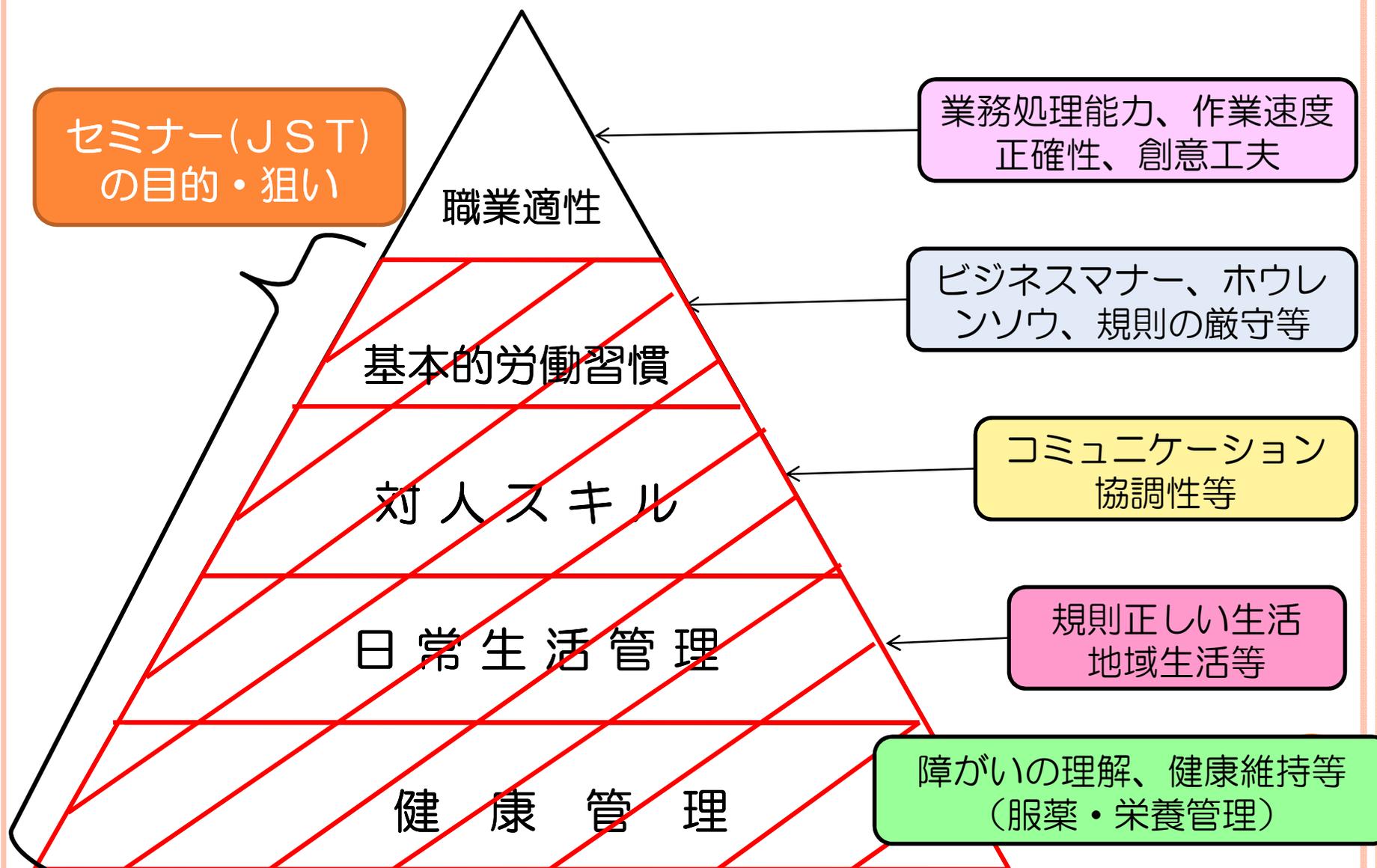
# 職業準備性ピラミッド

(障害者職業センター)



# 職業準備性ピラミッド

(障害者職業センター)



# JST (ジョブ・スキル・トレーニング)

「JST」とは「**Job Related Skills Training**」の略称で、職場対人技能トレーニングの意です。

「JST」は職場における基本的な対人マナー等について、発達障がい者が、ロールプレイや意見交換を行いながら、職場で必要とされる対人コミュニケーションのスキルを向上させることを目指します。「JST」は、発達障がい者の特性であるコミュニケーション・社会性・想像力の問題を考慮したスキル向上のトレーニングとして、対人行動や社会性、不安や混乱となりうる事項についての対処等を身に付けられるように導入しています。

(障害者職業総合センターHPより)

南河内南障害者就業・生活支援センター  
特別版「JST」をご体験ください。

これから上映する

「JST (ダイジェスト版)」ビデオを

「メモをとる」イメージを

持ってご覧ください。

# 「JST」実践報告 PART ①

- テーマ 「クッションことば」



## JST メモ

○「クッションことば」～ スムーズなコミュニケーションのための「会話の工夫」

○ 失敗したときの報告

- ・クッションことば～「係長、すみません」
- ・状況を正しく報告する
- ・次の指示を受ける(仰ぐ)

○「断る」場面

- ・クッションことば～「申し訳ありません」
- ・明確な理由を伝える
- ・代替案を示す

## JST メモ

職場は多くの人がかつどうするので、どうしても色々なことが起こります。なので円滑なコミュニケーションがとても大切になります。働くうえでのスムーズなコミュニケーションが図れるひとつの方法にクッションことばがあります。クッションことばにもいろいろありますが、今日はビデオを見て失敗した時と残業を断る場面について現況しました。失敗した時にはなかなか上司の人に失敗したことが言いにくいですがビデオのなかではクッションことばを使ってうまく自分の失敗を報告していました。上司の人もそれを聞いて次の指示をだしていたので失敗した人は再度チャンスをもらうことができました。次に残業を言われた人がそれを断るビデオでした。最初はおそらくしていたので上司の人は気を悪くしていましたが、うまくクッションことばを使うことで話のきっかけをつかんでいました。それをきっかけとして、きちんとなぜ今日は残業できないのか理由を伝えたくて明日ならできると代替案をしめしてしていました。こうした工夫によって大変難しい場面を切り抜けることができていました。クッションことばには状況や場面によっていろいろな種類があるので状況に応じてうまく使い分けることが大切です。例としてはすみませんがちょっとよろしいでしょうか 申し訳ありませんが あいにくですがといったことがあります。安定して働くうえで会社の中で円滑なコミュニケーションがあることはとても大切です。

原文のまま

福祉セミナー用 JSTメモ 「クッションことば」

- 職場は、多くの人が ( ) しています。  
なので、必然的に色々なことが起こります。
- どのようにすればスムーズな ( ) がとれるのか  
働きやすい ( ) が整うのかを考えてみます。
- 会社の中で、起こりそうな困った場面<sup>場面</sup>の例
  - ・ ( ) する      ・ ( ) を受ける
  - ・ ( ) する      ・ ( ) する
  - ・ ( ) する      ・ ( ) する
  - ・ 話しかける ( ) がつかめない。
- 「クッションことば」の例
  - ・ ( ) が・・・
  - ・ ( ) ありませんが・・・
  - ・ ちょっと ( ) でしょうか？
  - ・ ( ) ですが・・・ (断る場合)
- 「ぶっくらほうに聞こえることば」の例 → クッションことば
  - ・ ( )      ・ ( )
  - ・ ( )      ・ ( )
  - ・ ( )      ・ ( )
  - ・ ( )      ・ ( )
- 安定して働くうえで、会社の中で円滑な  
( ) があることは、とても大切なことです。

## JSTに「映像(メディア)」を選択する理由

- 発達障がいの方・・・「視覚的情報」の優位性  
(結果的にはあるが・・・ → セミナーは全障がい対象)
- 「ビデオを観る」→ シチュエーション効果
- 演出効果・・・映像加工(文字・静止) / 音響 / etc
- 提供する「情報」がぶれない
- バージョンアップが容易(客観的評価)

# セミナー参加のルール

- 見学は、いつでもできます。
- いやな時は「パス」できます。
- 人の良いところをほめましょう。  
(良い練習ができるように、ほかの人を助けましょう。)
- 質問はいつでもどうぞ。
- トイレには、ちょっとことわってから

# 「JST」実践報告 PART ②

## ○テーマ 「あいさつ」



コミュニケーションツール  
「○× マルペケボード」

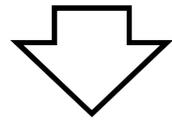
「意思表示」  
することの  
負担を軽減  
して、発言  
を促す効果

日本語では  
難しい表現  
(概念)

**No Thank You !**

# 「JST」実践において大切にしていること

- 一方通行の「情報伝達」ではない  
双方向／2次元・3次元的なコミュニケーション支援
- どんな発言（批判的発言・拒否）についても → 受容する  
※ 面談技法を活用「受容→共感→承認→感謝（拍手）」



キーワード 「自己肯定感」

- 「質問」できる力
- 分からない時に「分からない」と言える力
- 支援（HELP）を求めることができる力

舞い上がる  
ためには・・・

推進力

摩擦力

ご清聴ありがとうございました。



大阪府障害者福祉事業団

南河内南障害者就業・生活支援センター